

お知らせ

当協会静岡支部が、2020年2月7日、静岡県磐田市 竜洋掛塚橋河川敷において、災害対応訓練（主催：静岡県西部地域道路啓開検討会 事務局〈国土交通省浜松河川国道事務所、静岡県西部地域局、磐田市〉）に参加いたしました。

同訓練は、国土交通省静岡国道事務所主導による業団体間連携（静岡建設業協会、清水建設業協会、静岡県解体工事行協会、静岡県石油商業組合、JCRA 静岡支部）を基とした実働訓練を踏まえ、業団体間の連携が未締結である静岡県西部地区においても、県道市道被害を想定した実働訓練を実施することで、発災時に迅速に対応できる体制を整えるべく行われたものです。当日の訓練概要は次のとおりです。

【訓練概要（一部抜粋）】

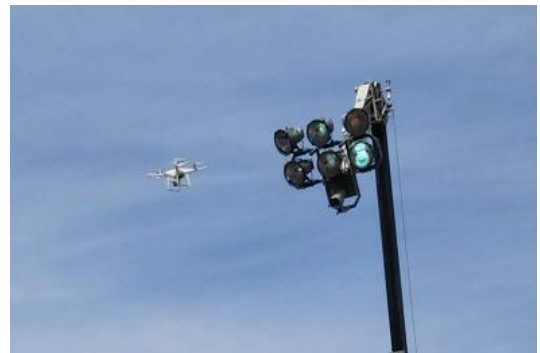
- ①ドローンを用いた災害現場状況の把握
- ②災害現場での周知及び看板設置訓練
- ③電柱倒壊災害及び放置車両対応訓練
- ④津波襲来による漂着瓦礫の撤去及び要救助者救出対応訓練
- ⑤遺体搬送訓練

③では、道路管理者（磐田市）並びに施設管理者、災害協定業者等が電柱倒壊及びこれによる自動車放置を想定した訓練を行い、三者連携による電柱及び放置車両の撤去の手順を確認する内容となりました。

なお、静岡支部からは、太陽建機レンタル(株)仲田支店長並びに溝口支店長代理、大興産業(株)内野所長、(株)アクティオ 高久所長、静岡支部 影山事務局長の5名が参加し、関係各所との連携を図る貴重な時間となりました。



訓練のもよう①



ドローンを用いた訓練も実施されました



訓練のもよう②